

くまもと

344号

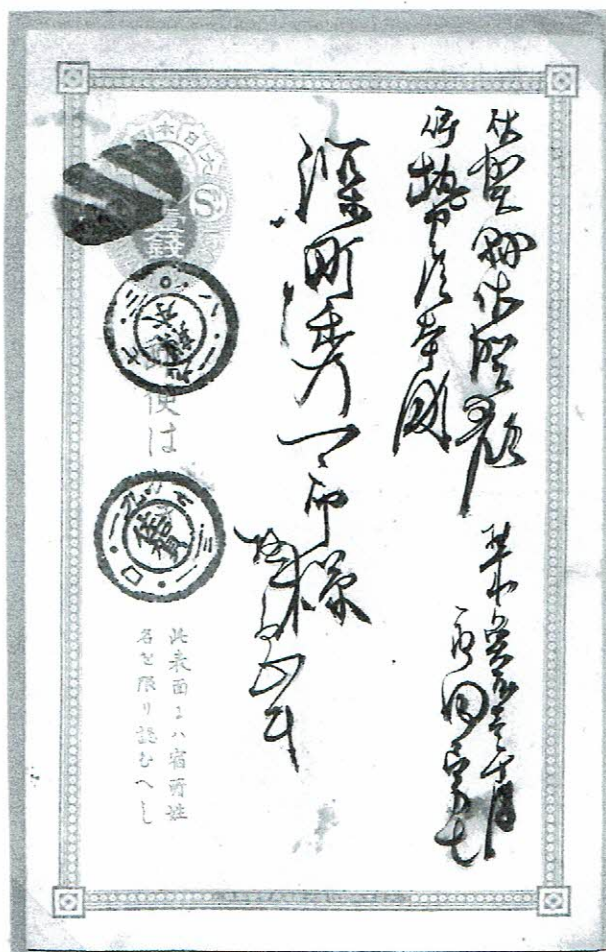
日本郵趣協会
熊本支部会報
2020. 8

肥後国

熊本

小判はがき・紙幣寮銘

1876(明治9)年9月19日発行



証示印 N3B3 明治19年7月30日・八便

到着印 N3B3 明治19年7月31日・口便

今月の「貴方が主役」は、出口支部長が担当し、大型ボタ印について解説していただきます。

大型ボタ印

1881年(明治14)9月より順次、一等局と二等局の一部で使用され

1888年(明治21)8月31日まで抹消専用印として使用された。

使用局は使用開始時期により第1次から第8次に分類される。

63の使用局でそれぞれの印影が使用され(山家は未発見)、

東京、大阪、神戸の各支局でも使用され、本局と同一の印影が

使用されたが、証示印として二重丸型日付印が使用されたので

実郵便では区別ができる。

消印収集は使用局や使用時期等、面白い反面、面倒な一面があり

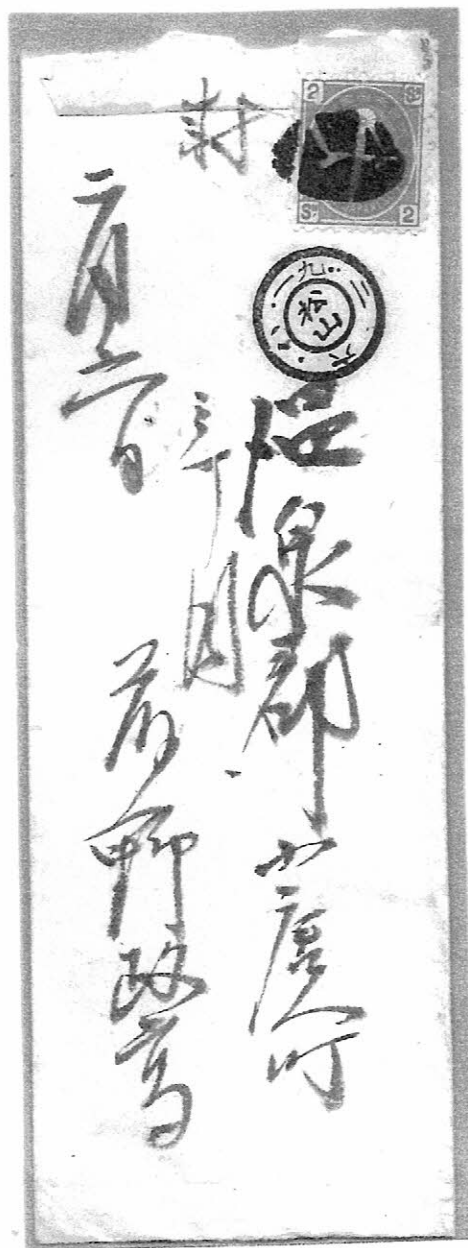
ぐうたらな自分としては比較的楽だと思い始めてみましたが、ボタ印

の収集、恐るべし。今後も収集は続きます。

伊予国

松山

U小判2銭 明治16年1月1日発行



抹消印 N3B3 伊予・松山 明治19年2月6日 八便

到着印 KG 伊予・新居浜・多喜浜 2月7日

大型ボタ印

東京



大阪



横浜



京都



神戸



長崎



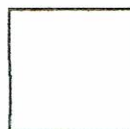
函館



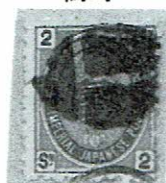
新潟



金沢



高崎



熊本



鹿児島



名古屋



大津



大型ボタ印

岐阜



四日市



富山



福島



長野



松江



青森



仙台



赤間関



秋田



山形

